

図書館だより

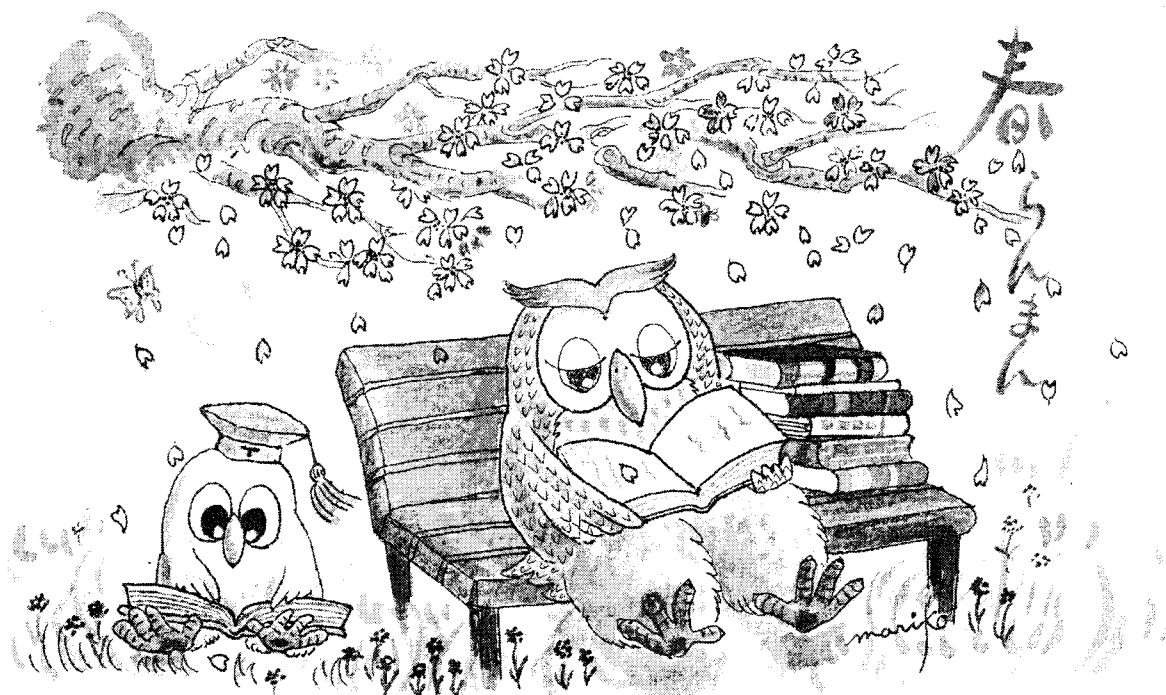
発行 多可町図書館

〒679-1133 多可郡多可町中区粧屋 434-11

TEL 0795(32)5170

FAX 0795(32)5171

<http://www.library.taka.hyogo.jp/>



「だから図書館に行く」

絵本作家 鈴木千春

図書館からの電話はドキツとする。あつ、またやってしまったか？返却日は過ぎてたっけ？調査依頼をしてたっけ？予約本にリクエスト本。とまあ、カウンターにいらつしやる職員の方々には、いつもお世話になってる。おまけに毎回自作本の貸出をチエツクしてもらおう。故にブラツクリストに上がっているのではないかと思うほどだ。それにしても今回の電話にはまいった。ドキツとして、エツと驚いてウーンとうなつてしまった。紙面トップの原稿らしい。日頃の行ないを考えると即座に切れることもできず、ブラツクがグレーにと願い、お受けしたものの、だからだともう百字を使っている。失礼ごめん。

さてさて休日のある日、「さあ、図書館に行くよ。」と、子ども達を誘い本をバッグにつめ準備をバタバタしていると、「お母さん、その本ちがうよ。」と娘から注意を受ける。あらまっ。小学校のおたよりで申し込みをして買った本だった。

図書館に着いて返却すると「あのう、申し訳ございませんが、この本は図書館の本ではありませんが。」と、丁寧に断られた。よく見ると自分で買った本だった。確かに。言い訳をするつもりはないが、これらの本は以前に図書館で借りたことがあるため間違えた。

まずは図書館で本をリサーチする。そこで、この本いいなあ、もう一度読みたいなあと思つたら、絵本でも趣味の本でも買う。しかし、本は高い。だけど欲しい。だから図書館に行く。探す。無ければカウンターで尋ねる。ついでお薦めの本なども聞いてみる。

子どもたちと絵本を楽しむ、自分のために読書する。それから買うか否かを吟味する。子育てに絵本がなくてはならない我が家にとつていい本はいつもそばに置いておきたい。しかし、本は高い。だけど欲しい。だから図書館に行く。

こんな時もある。思いがけず暇ができた。あてもなく図書館に行つてみる。書架のカラフルな背表紙を眺め、取り敢えず子育て雑誌などを手にとつて、まるでちよつとしたサロンのように時間をつぶす。どんな活字本でも図書館で読むとなんだか賢くなったような気がする。この、チープな考えがまた図書館へ向かわせる。我ながらうまく図書館を利用しているではないか。

開館三周年のこの場所は鈴木家にとって今や生活に欠かせないものとなっている。このまま近くに末永く末永くあつて欲しいもの。願わくは自作のコナーができるまで。

よし！頑張っちゃおっかな。

トピックス

◆かるた会1/13

毎年恒例のかるた会が行われました。

3つのグループにわかれ、真剣に読み手の声に耳を傾け、札の数を競いあいました。

◆糸車体験1/27

「たぬきの糸車」のおはなしの後、実際に糸車を回して体験していただきました。実際に綿から糸が紡がれる瞬間は感動すると共に、こういう仕組みになっているのか不思議な感じがしました。

《参加された方の声です。》

・難しかったけど面白かったです。
(小学生・女)

・こういう経験はなかなかできないので、すごくよかったです。ありがとうございました。
(一般・女)



◆読み聞かせ入門講座

図書館では5月より読み聞かせ入門講座(全4回)を開講いたします。

講師 小栗栖真弓さん

日程 5/10(木)

6/7(木)

7/5(木)

8/2(木)

時間 午前10時~12時

定員 約25名

参加費 無料

※託児もありません。

申込み期限 4/28(日)

人数が集まり次第締切ります

絵本や読み聞かせに興味のある方、ぜひ、ご参加ください。詳しくは図書館までお問い合わせください。

◆平成18年度利用状況 (3/10現在)

利用者数: 27,881人
貸出冊数: 150,086冊
登録者総数: 5,290名

2月17日(土)貸出総数が40万冊を超えました。

・あんな本 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

『ベルリン1945』 理論社

クラウス・コルドン/著 (K943 コ)

12歳の少女エンネを主人公に、第二次世界大戦終戦前後のベルリンが描かれています。大きな時代の波の中に生きる様々な人たち。普通の人々にとって戦争はどんなものだったのか。強制収容所、瓦礫の町、いつどんな状況であっても希望を持つことの大切さが語られています。

作者は二十世紀前半のドイツを『ベルリン1919』、『ベルリン1933』との三部作で、その時々にもっとも苦しい思いをしなければならなかった人々の視点から描いています。(み)



『みつけたものとさわったもの』 童話館出版

ウィルとニコラス/作 (Eモ)

犬のナツプとウインクルは庭をほり、とうとう一本の立派な骨をみつけます。ところが、二匹ともこの骨は自分のものだと言ってゆずりません。そこで、とおりがかった農夫や床屋の見習いにどうすればいいか相談しますが、みんな自分の言いたいことだけ言って二匹の問いには答えてくれず、なかなかどちらのものか決められません。



あげくのはてに、大きな犬に決めてもらおうとしますが…。二匹と農夫や見習いとのやりとり、同情しながらも思わず笑ってしまいそうになる楽しい絵本です。(さ)



まいにち薔薇いろ 浪花のサガン

田辺聖子 編



答えは次のページに・・・

-

[illegible]

『おじさん通信簿』 角川書店

秋元 康／著 (361 p)

かくやひめの遺臣子



気づいたら「おじさん」になっていた。先輩に昔話をしたり、首の後ろに「親父汗」をかいたり、50代になって初めて分かったおじさんの習性。おじさんになった筆者が、誰にも気兼ねせずに、「おじさん生活」を満喫する極意を伝える愉快な本です。本の中に出てくる 20 の設問中半分に YES と答えた人は間違いなく、「おじさん」です。「おじさん」は「おじさん」で、なかなかいいものでありますよ。(か)



いろいろな人間模様を通して《食》や《農業》の問題をあらためて考えてしまいました。(た)

★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆

本と人、出会いがいっぱい!!

図書館まつり

たくさんのお来館ありがとうございました。

3周年を迎えた多可町図書館。

今年は一八千代(3/3)・加美(3

／4)公民館図書室でもおはなし会や絵本のカバーを使ったパズルづくり、そのほかあまじやこのジャンボパズルに挑戦しました。

このほかあきたまりこさんの原画、小嶋明さんのイラスト、松井つ子クラブの作品を展示しました。
(2/25～3/24)

大月ルリ子先生とのつどい

3/9(金)

午前中は講演会、午後からは大人のためのおはなし会を開催し、遠方からも多数の方が参加されました。

てんこもりフェスティバル

3/11(日)

本のリサイクル、囲碁・将棋、戸塚刺繍によるマイブックカバーづくり、播州織しおりづくり、多可町婦人会のみなさんによる喫茶コーナーなど、その名のとおり「てんこもり」な内容で大勢の方に楽しんでいただきました。

ファイナルフェスティバル

3/24(土)

町内3中学の生徒に図書館一日館長を体験してもらいました。図書館だういすきプログラムでは鈴木千春さんのおはなしや参加された方によるわたしの「おすすめ本」をテーマにみんなでリレートークしました。

来館者の声

絵本のカバーでパズルをつくるのはむずかしかったけど楽しかった。

(小学生・男)

パズル作りでは絵(カバー)を好きなものを選んで自分でも作れてよかったです。でも、とっても組み立てるのが難しかったです。しおりづくりは最初失敗したけど次からはうまくできました。図書館でこんなことができて、とっても楽しかったです。

(小学生・女)

パズル作りに参加させていただきました。いつも見ている絵本で自分だけのパズルができて子どもも楽しかったみたいです。

(一般・女)

将棋、負けたけど楽しかったです。

(小学生・男)



小さいパズルはしたことがあったけど、こんなに大きいパズルはしたことがなかったので、見たときはびっくりしました。みんなで完成できたのでうれしかったです。

(小学生・女)

グラデーションの刺繍糸がきれいで、すてきなブックカバーが出来そうです。

(一般・女)

きれいな糸で刺繍が出来、時間があっという間に過ぎてしまいました。仕上げてマイブックカバーを自慢したいです。

(一般・女)

普段は手芸に遠のいていましたので目がなれるまで大変そうにありましたが、少しなれてくると見れるようになって楽しくなってきました。途中で終わりになりましたが頑張って最後まで仕上げたいと思います。

(一般・女)

私は、本のリサイクルの記事が目につくと是非行ってみたくなる。もしかすると自分が読みたい本があるかもしれない。何冊かの本を読み終わったらそのうちの適当なものを実姉(83才)に届けることにしている。姉は高齢であるにも拘らず裸眼で小さな文字が読めるというから驚きである。本を届けて一か月が経たないうちに次の本の催促の電話がある。様子を伺いに行くと前回に届けた本の内容をこと細かく楽しそうに話してくれる。側で私たちの会話を聞いていた姉の主人は「いつもは小さな声でしか話さないのに本の話になると急に元気な声になる。」と言って笑う程である。これもひとえに図書館の本のリサイクルのおかげである。

(一般・男)

表紙のひと
鈴木千春さん

1969年生、中区東安田在住。7才、2才の2児の母。スクールラプ支援事業補助員として中町中学校に勤務。著書に『いたいのいたいのとんでいけ』『めだかさがし』があり、現在、童話を創作中。

こたえ

- 1-④ 2-②
- 3-③ 4-①
- 5-③



図書館だより

発行 多可町図書館

〒679-1133 多可郡多可町中区糺屋 434-11

TEL 0795(32)5170

FAX 0795(32)5171

<http://www.library.taka.hyogo.jp/>



「共通の話題を求めて」

加美区

寺尾

岩 たかし

「長谷川平蔵である」とはテレビの中で鬼平を演じた、中村吉右衛門の嵌り文句である。妻は、この歌舞伎役者の渋さに惹かれると言う。当時の加美町図書室(平成十五年)で、たまたま池波正太郎氏の「鬼平犯科帳」の連作を借り受けたことから、私の図書室通いが始まった。以来、西村京太郎氏の「十津川警部シリーズ」など、人気作家の本を借り尽すことになった。その後は中町図書館に足を延ばし図書の高さに驚き、そして借りられることに安堵したものである。時は移り三町合併も成り、多可町図書館として衣替えをした。職員皆さんのサービスと親切が身に沁みて「おらが図書館」の思いが強まるばかりの昨今である。最も親しい友人が、私どもの借り受ける本を金額に換算すると大変な値になると言ったが、全くその通りで無料で借りられるとは有り難い限りである。(月50冊×12×@1,000=60万円×x年)これらの本を読んだ感想を、夫婦で語り合う内に段々と好みに共通点が生じてくるものらしい。振り返れば、妻の読書好きは、小学五年生の新学期に図書係に立候補したそうであるから、全くの本の虫と言える。農閑期の父とは、講談社の『巖窟王』等と一緒に読んだと懐かしんでいる。私の若いころには、『罪と罰』など文学に肩肘を張って粋がついていたが、最近では、妻ともどもに肩の凝らないような多くのジャンルの本を楽しんでいる。幸いに、多可町図書館は蔵書も豊富に揃い、新刊書も多く感謝の念頻りである。老妻との余生は、図書で共通の話題を深め、脳の活性化を図りたく思っている。

最後に趣味の川柳を一句

いつだって 主役になれる 本が好き(麦人)

★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★

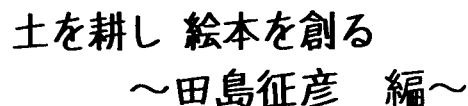


★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★

909

グレート・ギャビー

エコー・フィッフィングランド
村上春樹 著



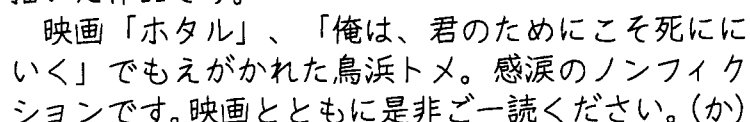
(1) 京都の祭りでも有名な、記念すべき一作目の絵本の題名は
①葵祭 ②貴船祭 ③祇園祭 ④時代祭

(2) 32年前、第9回京都洋画版画新人賞を受賞した時の副賞は
①1ヶ月の海外研修
②1ヶ月大丸ギャラリーで個展
③1年間嵐山アトリエ利用
④1年間の画材無料提供

(3) 「じごくのそうべえ」に出てくる「ふっかい」は何者
①相撲とり ②山伏 ③山賊 ④歯医者

(4) 「じごくのそうべえ」は上方落語“地獄八景”をもとに絵本にしています。噺を演じる落語家は
①桂三枝 ②桂文珍 ③桂ざこば ④桂米朝

(5) 現在、アトリエ兼住居として住んでいる島は
①家島 ②小豆島 ③与島 ④淡路島





ご遠慮なく

さて、点検を終え少し気になったのは本の傷み具合です。中でもよく利用される児童書は傷みが激しく、図書館では気づいたものは修理をしています。最近では糸を使わず糊だけで綴じた無線綴とよばれるものが多く、ページが取れやすくなっています。また、乗り物や恐竜の本など子どもたちに人気がある本は破れていることもしばしば。何も言わずにそのまま返却される方、カウンターで声をかけられる

開館して約3年が過ぎ、この2月、初めて蔵書点検をおこないました。1年目はあまり感じなかった汚れも、何十回となく読まれている人気本は少しくたびれがち。一方、いい本なんだけれど、なかなか手にとってもらえない本も。サポー田・ねっとの方々とそんな本を掘り起こして、みなさんにご紹介できればと思っています。

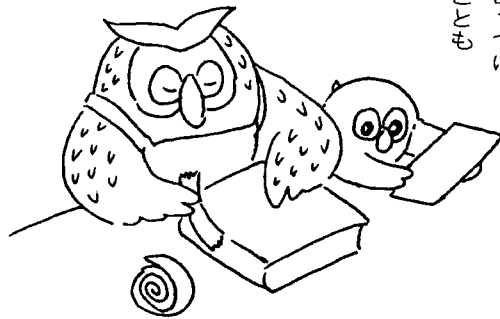


方、そつと修復されている方、など様々です。ちよつとした破損は専用の補修テープ等で直しますので、職員に遠慮なくお申し出ください。セロテープを使用するとテープがしだいに劣化し、はずれてしまいます。

(※破損の状況によっては弁償していただくことがあります。)

そうなんだ

図書館の中で飲食できないというのをご存知でしたか？意外とご存知でない方が多いようです。だんだん暑くなってきましたし、一時間ほど読書すればちよつと一息つきたいところですね。しかし、飲料水・ガム・飴などの飲食物は本を傷める原因になります。また、多可町図書館には現在のところ飲食スペースがありません。



ませんので、申し訳ありませんが館内での飲食はご遠慮願います。

やややつ!!



と思います。でも、図書館の本は皆さんのものです。だれもが気持ちよく使っていたり、大切に扱っていただくため、ご協力をお願いします。

図書館バッグの中にお菓子のくずがたくさん入っていたり、返却本の中には、スーパージョーのシート、はがき、各種明細書がはさまっていることも。ときには爪楊枝や綿棒、食べた後の団子の串など…。思わず「えっ」と思うものもあります。返却される前に再度点検いただくとうれしいです。また、図書館にも乗を置いていただけますのでご利用下さい。

というわけで...

最近少し気になった図書館でのことについてふれてみました。誰しも汚そうと思つて本を読まれる方はない



ふくちゃんのウインク

今回の図書館だよりの巻頭文は利用者の方に書いていただきました。今までは“まちの話題の人”や図書館長に原稿を依頼していました。今後は、利用者のみなさんに図書館や本に対する思いなどを綴ってもらえる場にできればと考えています。よしっ！書いてみようという方（字数は700字程度です）は図書館員まで声をおかけ下さい。（け）



クイズのこたえ

- (1) ③祇園祭 (2) ①1ヶ月の海外研修（副賞である賞金100万円を使って研修しなければならず、モスクワ、東欧、イタリア、スペイン、フランスと旅に出られている。）
(3) ②山伏 (4) ④桂米朝 (5) ④淡路島

図書館だより

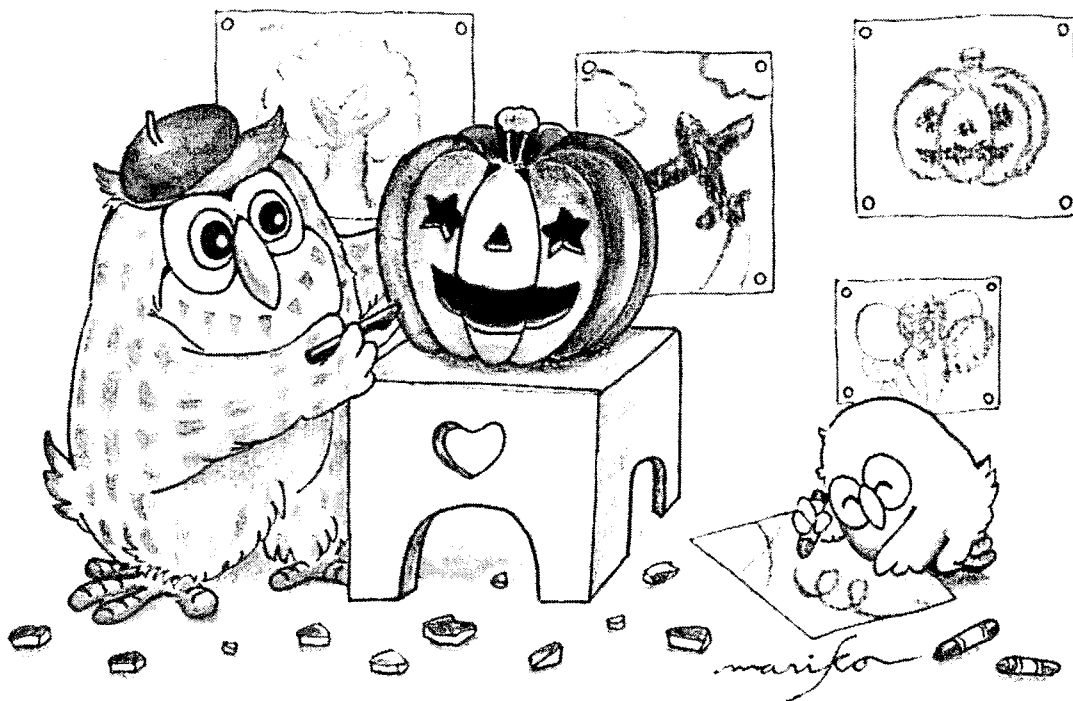
発行 多可町図書館

〒679-1133 多可郡多可町中区糺屋 434-11

TEL 0795(32)5170

FAX 0795(32)5171

<http://www.library.taka.hyogo.jp/>



「私と手づくり絵本」

手づくり絵本作家 村上祐喜子

私が手づくり絵本を始めたのは、日常を生き生き描いた林明子さんの絵本『きょうはなんのひ?』はじめてのおつかい』などを見て、わが子の日常も絵日記風に描いてみようと思ったのがきっかけでした。子ども達は自分達が登場するの想像以上に喜んでくれました。もう二十数年前の話になりますが…。

夫の転勤で名古屋へ行ったとき三十年以上続いている「名東手づくり絵本の会」を知り、型にはまらず自由な発想で生まれる絵本の魅力にひきこまれました。絵本づくりに夢中になり、ガミガミ母さんになることもなく、ゆとりの子育てができました。横浜、大阪では絵本グループをたちあげ、講習活動も始めました。子育て日記の延長から離れたものを描きたいと思っていたとき、長野オリンピックのジャンプ団体で苦戦しながらも金メダルを獲得した原田雅彦選手の泣き顔がとびこんできました。好不調の波が激しく人間味あふれる彼を描きたいと思い、白馬に降りしきった雪ん子達の目を通して『ハラダさんのハラハラ記念日』という絵本にしました。この絵本が富山県大島町の全国手づくり絵本コンクールで大賞を受賞し出版しました。

忘れられないのが他界した父のことを孫八人と合作した『ゆうやけいろのおじいちゃん』。父の一周忌にはその絵本を孫たちみんなで輪読して供養しました。そのとき私の絵本は温もりの通いあう中で生かされると実感しました。そんな温もりを一人でも多くの人に伝えていけたら…と思っています。

三年前から夫の故郷の丹波市でも手づくり絵本活動を始めました。多可町図書館と縁があつて今月に当図書館で手づくり絵本展を開きます。どうぞお楽しみに！

トピックス

◆スタンプラリー7/21〜8/31



本を読む楽しみと図書館員とのふれあいの場になればと思い、始めたスタンプラリーも今年で3回目。過去最高の約120名が参加してくれました。

わたしはスタンプラリーをして本が
とても好きになりました。夏休みだけで
47冊読みました。とってもたのしかったので「来年もあつたらいいのになあ」
と思いました。
(加美・小4・女)

◆牛乳パックのからくり絵本

8/25・26

手づくり絵本作家村
上祐喜子さんを講師に
迎え、からくり絵本づ
くり13名の子ども
が挑戦しました。牛乳
パックは4面しかない
のに絵本は11の場面
もある不思議な仕掛け
絵本。思い思いのストー
リーを考え、
絵を描き、最終場面では飛び出すから



くりをつけるなど、自分だけのオリジナル絵本を完成させました。

また、10/17

21日「手づくり絵本展」を開催いたしますのでぜひ、お越しください。



◆貸出冊数が50万冊を突破

今年2月末に貸出冊数が40万冊を超え約7カ月後の9月に50万冊を突破しました。一口で50万冊と言われてもあまり実感が湧かないと思いますが、図書の平均購入単価1200円×50万冊＝6億円の税金が皆さんに還元されたと考えればすごい数字です。当初、10万冊の貸出に約1年かかりました。月平均、約九千冊の貸出だったのが徐々に増加し、合併以後は一万三千冊の貸出です。図書館によって貸出冊数はまちまちなので、一概に比較は出来ませんが、すこしずつ皆さんの暮らしの中に図書館が馴染んできているのではないのでしょうか。しかし、町民の登録率という点と約20%です。図書館は使えば使うほど便利なところですよ。

ぜひ、まだ一度もお越しでない方、お気軽に立ち寄ってみてください。

・ あんな本 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

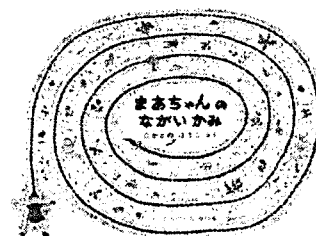
『はるかな国の兄弟』 岩波書店
リンドグリーン／著 (K949リ)

体が弱く長くは生きられない弟・カールに、死ぬと行けるといふとき火とお話の国・ナンギヤラのことを教えてくれた兄・ヨナタン。ところが家が火事になり、弟を助けたヨナタンはカールを残しナンギヤラへ旅立ちます。まもなくナンギヤラへ行ったカールは、ヨナタンと一緒に美しいサクラ谷で楽しい毎日を送ります。そんなある日、カールはナンギヤラがただ美しく平和な国ではないことをヨナタンから聞かされます。ヨナタンが村人たちを苦しめる暴君・黒の騎士に戦いを挑もうとしていることを知ったカールは、兄を助けてともに戦おうと決意します。優しく強い兄をしたう弟と、そんな小さな弟を見守る兄、二人の勇敢な姿を描いた物語です。(さ)



『まあちゃんのながいかみ』 福音館書店
たかどのほうこ／さく (Eた)

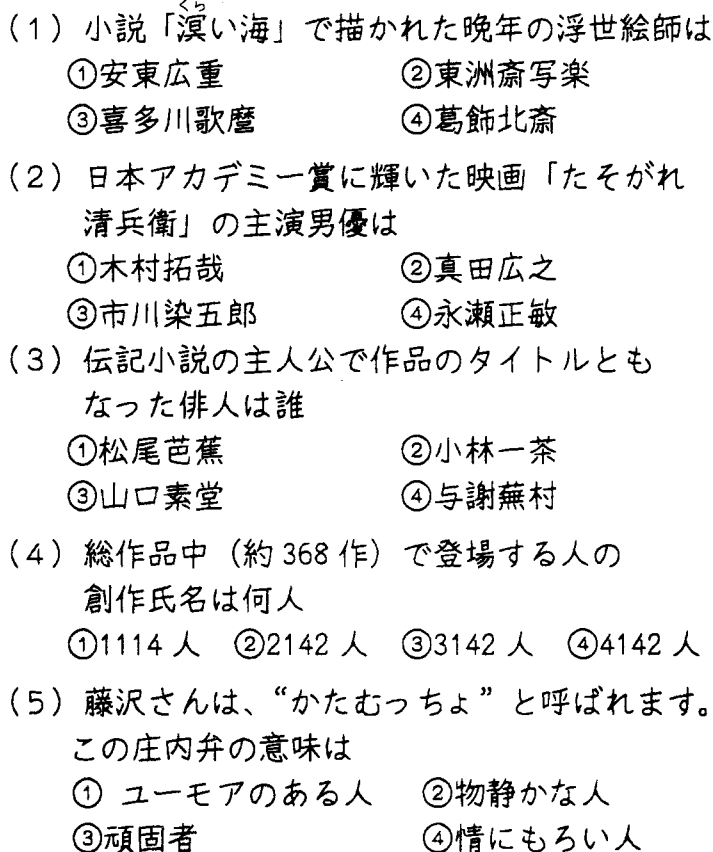
みじかいおかつぱ頭のまあちゃんのかみのながいおともだち2人とおかしをたべながらおしゃべり。「あたしはもつとずつとのはすんだから」とのはしたときのことを想像します。橋の上からおさげをたらしたら・・・右のおさげと左のおさげをぴーんとはって木にむすんだら・・・とつぴょうしもない話を大まじめに話合っている3人がとてもほほえましく、またこどもらしくてすごいなあと感じます。なが〜い三つ編みがうずを巻いている表紙も楽しい絵です。(た)





時代を通して 普遍のテーマを綴る
～藤沢周平 編～

答えは次のページに・・・



ケルトの白馬

早稲田大学でラグビー日本人、日本代表監督として、スコットランドを撃破する歴史的勝利を、ワールドカップでは、唯一の勝利を挙げた監督であり、軽量小柄ながら努力の天才として賞賛されています。本職の銀行マンとしては、為替ディーラーとして、また、円高、バブル崩壊、金融危機等の日本が直面した大変難しい経済状況の中で、したたかに、不良債権処理を進め、三井住友銀行へ貢献しました。また、みんなが手を付けなかった松下電器案件などの困難な問題に、正々堂々立ち向かい解決に導いた功績は、多くの関係者から賞賛を浴びています。しかし、人と言えない悩み、孤独、必死で走ってきた故の極度の疲労、ストレスなど様々な要素が重なり、メガバンクの頭取という、頂点の座を極める寸前で急逝した宿澤広朗の知られざる苦闘の生涯を関係者の証言等を通じてめぐっていきます。宿澤の数々の業績は、不断の厳しい練習、時期を得た的確な判断、見事なリーダーシップなど、たゆみ無く努力を続けることで、運を支配し、数々の業績に繋がりました。ラグビー愛好者はもちろん、全ての人に必読のノンフィクションです。(か)

[illegible]



よく読まれた本 (一般書)

	書名	著者	回数
1	佐賀のがばいばあちゃん	島田洋七	27
2	赤い指	東野圭吾	25
3	鈍感力	渡辺淳一	18
4	菜菜ごはん 野菜・豆 etc	カミノユウコ	17
4	東京タワー オカンとボクと時々オトン	リリー・フランキー	17

よく読まれた本 (絵本)

	書名	著者	回数
1	恐竜トリケラトプス(シリーズ)	黒川みつひろ	40
2	まりーちゃんとひつじ	フランソワーズ	35
3	バムとケロのにちようび	島田ゆか	34
4	1000の風1000のチェロ	いせひでこ	32
5	もりのなか	マリー・ホール・エッツ	28

よく読まれた本 (児童読み物)

	書名	著者	回数
1	かいけつゾロリ(シリーズ)	原ゆたか	37
2	ハキちゃんの「はっぴようします」	薫くみこ	29
3	りんごあげるね	さえぐさひろこ	27
4	怪談レストラン(シリーズ)		26
4	七草小屋のふしぎなわすれもの	島村木綿子	26

※恐竜やゾロリなどシリーズものは一つのみ掲載しています。

どんな本がよく読まれているのかな?なんて思われたことはありませんか。絵本や児童の読み物はあまり変化することなく定番のものが上位にランクインしています。いせひでこさんの『1000の風1000のチェロ』などは、コンサートや原画展と連動して年齢を問わずよく貸出されました。

一般書のトップは『佐賀のがばいばあちゃん』。じわじわと貸出が伸びていき、映画化とともにさらに加速。ばあちゃんの生き方やその言葉に元気をもらった人も多いのでは…。一般書の場合、映画化、ドラマ化されると一気に貸出・予約が増えます。『華麗なる一族』もその一つ。今回ランクインはしていませんが中高生から主婦層を中心に貸出及びリクエストが増えてきたのはケータイ小説です。数年前の韓流ブームのようです。このほか『女性の品格』といった新書タイプの本。新書の本は出版数も非常に増えてきています。あと、新谷弘実さんの『病気になるしない生き方』といった健康に関する本に人気があります。

ご自宅に眠っている 本はありませんか

毎年3月に開催している図書館まつり。昨年度は本のリサイクル市を実施し、大変好評でした。もう読まない本だけどまだまだ活用できる。そんな本がご自宅にありましたら、リサイクルしませんか。郷土資料や絶版等で手に入らない本は図書館の方で所蔵し、その他はリサイクル市へと考えていますのでよろしくお願いします。まずは図書館までお問い合わせください。

表紙のひと 村上祐喜子さんプロフィール

1954年富山市に生まれる。大学卒業後、(株)柴田書店に入社し、月刊誌の編集に携わる。結婚後、子育ての日々を手づくり絵本に。93年、手づくり絵本講習活動を始め99年『ハラダさんのハラハラ記念日』をポプラ社より出版。01年には毎日新聞「よんであげて」(9月)挿絵を連載。04年からは丹波新聞カルチャーセンターで、手づくり絵本講座を受けもつなど、関西を中心に各地で講習し、手づくり絵本を広めている。茨木市在住。

ちなみに問題(2)の俳優さんが主演された藤沢映画は①「武士の一分」。③「蟬しぐれ」。④「隠し剣 鬼の爪」でした。

こたえ

(1) - ④

(2) - ②

(3) - ②

(4) - ③

(5) - ③

図書館だより

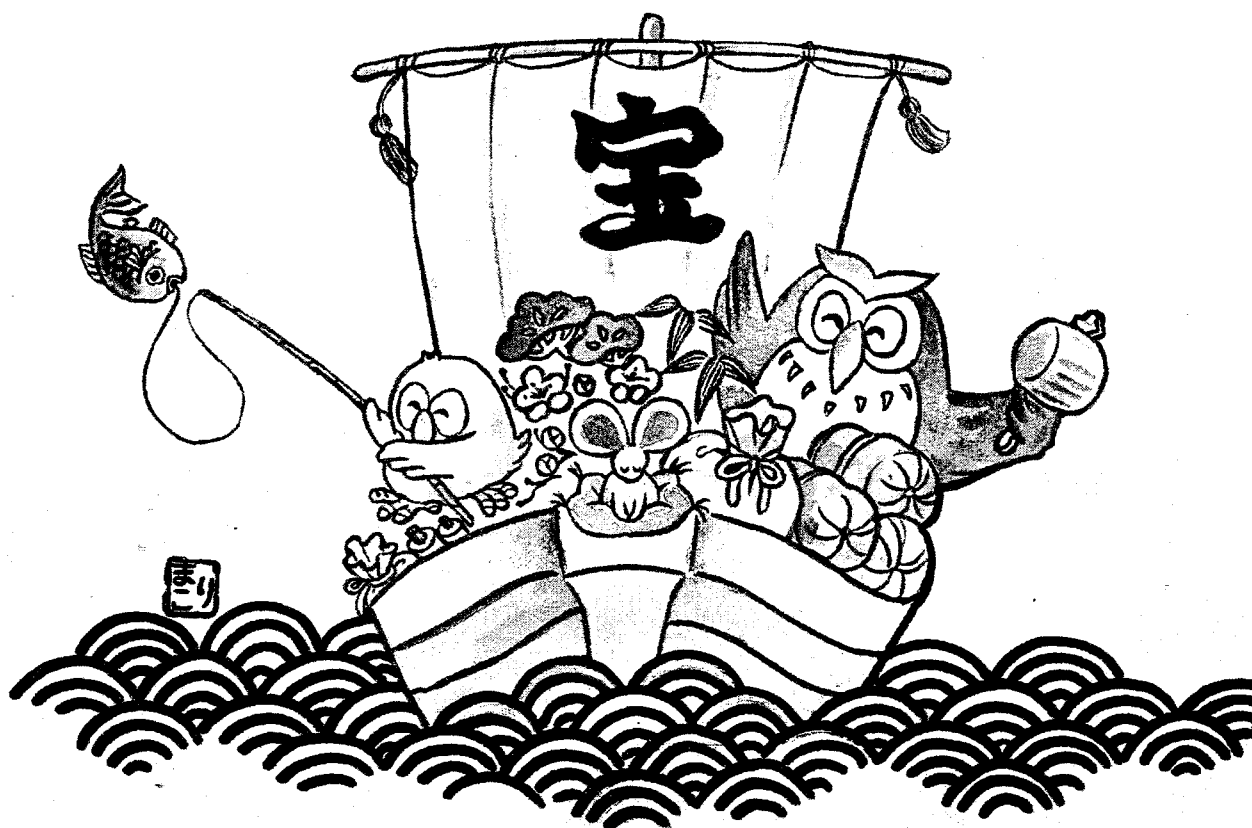
発行 多可町図書館

〒679-1133 多可郡多可町中区糺屋 434-11

TEL 0795(32)5170

FAX 0795(32)5171

<http://www.library.taka.hyogo.jp/>



「私の友だちは『漢和大事典』」

多可町図書館協議会 委員長 安藤尚文

新年おめでとうございます。

昨年の図書館事業は、三区のネットワークが完成し、加えてそれぞれでパソコンによる図書選びができるようになりました。大いに活用していただきたいと思います。

さて、私の愛読書の一つに「漢和大事典」があります。子どもころ、漢字は嫌いでした。ところが、運命のいたずらか、中学二年生のときに一ヶ月近い病気をしたのできつかけで、退屈しのぎに明けても暮れても、父の漢字辞典を読んでいた。読むというより眺めていたという方が正しいでしょう。

そのときに、国字というものがあるのを知りました。調べてみると、国字は和製漢字で、中国から来た漢字を真似て日本で作った漢字です。したがって、訓読み(日本語読み)はありませんが、音読み(中国語読み)はありません。当然ながら漢字輸出の中国には、日本で作った国字はありません。

新聞や雑誌には時おり「峠」や「鰯」などの漢字が出てきます。これらは正確には漢字ではなく国字です。「峠」もそうです。「神さまにそなえる木」すなわち「さかき」という意味です。これが面白くて、私は漢字大好き少年になりました。

どんな漢字辞典でも最後には、必ず漢字(国字も含めて)の一覧(総画索引)が出ています。画数が一画から三十三画までの漢字が順序良く並んでいます。

私はこの一覧で「𪛗、𪛘、𪛙、𪛚」などの面白い漢字を見つけては、本文に戻って詳しく意味を調べています。「𪛗」も面白い漢字です。でも、読み方は、筆順は、画数は、部首はなんですかなどとはねえられたら、困ってしまいますね。そういうことに答えてくれるのが「漢和大事典」で、私の友だちである所以です。

トピックス

◆手づくり絵本展

(10月17日～21日)

5日間にわたって

開催された絵本展は

200名を超える方々にぎわいました。

期間中、自分でも手づくり絵本を作っ

てみたいという声も聞きました。



◆どんぐりであそぼう

(10月27日)



自分で

作ったど

んぐりご

まをまわ

したり、

人形を作

りました。

創造力豊か

な作品が出来上がって

◆ストーリーテリング講座開講中

ストーリーテリングは「素話」^{すばなし}“お

はなし」とも言われ、古老の昔話りのよ

うに語り手が覚えた昔話や物語を語る

ことです。10月から始まっ

た講座には、現在17名の

方が受講されています。



◆ようこそ図書館へ

11月～12月に

かけて加美区のき

た保育所4歳児の

子ども達や中町幼

稚園の子ども達が

クラスごとに来館

し、思い思いの本を

選んでいました。



◆おはなしグループ“あいあい”

図書館でのお

はなし会(第2

土曜日)はもち

ろん、各学校・

園で読み聞かせ

やストーリーテ

リングなど積極

的に活動されて

います。児童からも「楽しかった。

また、来て欲しい。」という声をた

くさんいただいて

います。

また、多可高校へ

読み聞かせの指導

にも行かれています。



あんな本 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

『火よう日のごちそうはひきがえる』 評論社
ラッセル・E. エリクソン/著 (K933 E)



ある冬の日、ひきがえるのウォートンは、地面のずっと下の居心地の良い家を出て、無謀にもおばさんのところへ出かけます。ところが、途中でたちの悪いみみずくにつかまってしまいます。みみずくは、自分の誕生日に食べるつもりで、ウォートンを捕まえておきます。夜には、一緒にお茶を飲んだり、おしゃべりしたりするのですが、みみずくの気持ちに変わりはないようです。

最後の日、ねずみに助け出されたウォートンは、みみずくがキツネに襲われているのを見ます。さて、ウォートンは… 読後に満足できる1冊です。(み)

『たいせつなこと』 フレーベル館
マーガレット・ワイズ・ブラウン/さく (E7)

“スプーンにとってたいせつなのは それをつかうと じょうずにたべられるということ”

草や靴など、日々、私たちがなにげなく目にするものたちそのものの、大切なところはどこか自由にとらえられ、その視点の鋭さにはっとさせられます。さらには、ありのままの“私”自身がいかに関心あるのかを気付かせてくれます。子どもだけでなく、なんとなく心が疲れた人にも読んでほしい絵本です。(さ)



八千代区 長谷川さん

加美区 安平一郎さん